

令和2年度

第3回磐田市男女共同参画審議会 摘録

日 時	令和3年3月17日（水）午後3時00分～5時00分
場 所	市役所西庁舎3階 304・305 会議室
出席委員	鈴木まり子会長、高平めぐみ副会長、田村俊子委員、鈴木真由美委員 永井新次委員、藤森新五委員、鈴木弥栄子委員、杉浦直委員 袴田くるみ委員、田中卓也委員、稲葉紗恵委員
事務局	地域づくり応援課長 課長補佐、担当職員4人

[会議内容]

- (1) 開会
- (2) 連絡・報告
 - ①男女共同参画講演会（3月1日開催）の報告について
（浜松いわた信用金庫ワーキングレディースクラブ&磐田市共催）
 - ②市民意識調査の結果について
- (3) 議事
 - ①推進調査票の記載内容変更について
 - ②2020年度第2次磐田市男女共同参画プラン推進調査票報告について
 - ③各委員からの感想（今年度感じたことなど）
- (4) 閉会

[資料内容]

- 【資料1】 令和2年度市民意識調査結果
- 【資料2】 平成27年度市民意識調査結果
- 【資料3】 第2回男女共同参画審議会 摘録
- 【資料4】 (案)推進調査票/課別記載
- 【資料5】 (案)推進調査票/事業別記載
- 【資料6】 第2次磐田市男女共同参画プラン推進調査票

[会議概要摘録]

(2) 連絡・報告

- ①男女共同参画講演会「人生に効く脳科学」の報告について
(浜松いわた信用金庫ワーキングレディースクラブ&磐田市共催)
 - ・オンラインで開催し、参加者は200名弱であった。
 - ・日常生活で感じる男女の脳の違いをお話いただき、参加者からは好評であった。来年度も男女共同参画の啓発活動を続けていく。

- ②市民意識調査の結果について
 - ・令和2年度と平成27年度と比べ、同じ質問項目であっても、質問の言葉遣いを変更しており、男女共同参画に対する意識の変化を感じた。
 - ・男女共同参画への意識が高まれば物事を捉える視点も変化し、反映されていないと感じることも多くなる。そのため結果の数値だけで判断するのではなく多面的な視点で判断する必要がある。
 - ・市民意識調査の結果は磐田市総合計画へとつながる。行政だけでなく市民全体でこれからも取り組んでいく必要がある。

(3) 議事

- ①推進調査票の記載内容変更について
 - ・推進調査票は男女共同参画プランに基づく事業ごとに集計することで同事業の担当課のつながりをつくり良い効果を生むのではないか。
 - ・調査票は評価することが目的ではなく、評価することで現状を把握することが目的である。目的を見失うことがない調査票にしたい。
 - ・事業に対する取組み結果だけでなく、事業計画も担当課とヒアリングすることでより具体的で効果的な事業になるのではないか。

- ②2020年度第2次磐田市男女共同参画プラン推進調査票報告について
 - ・現状の推進調査票では、評価理由が具体的に記載されていないため読み取れないことが多くある。
審議会での意見を基に令和3年度から調査表を改善していく。

- ③各委員からの感想（今年度感じたことなど）